

鹿屋市地域おこし協力隊 が新たに着任しました

令和7年4月1日、鹿屋市地域おこし協力隊員3人が新たに着任しました。3年間の任期の中で全力で活動する隊員の活躍を応援してください。

図市地域活力推進課 TEL 0994-45-6930



水産業支援員

はらぐち ひろこ
原口 展子 隊員 (46 歳)

神奈川県出身。前職は島根県職員で、水産業支援業務に携っていました。私は海が大好きで、海の中の生きものを観察し、彼らの生きる姿を「見る・知る・感じる」ことがライフワークのひとつになっています。



海辺で見かけたときには、
ぜひ気軽に声をかけてください！

私は「現場主義」をモットーに大学等で海洋生物（特に海藻類）に関する調査・研究に長く携わってきました。

鹿屋市に移住したきっかけは、母のルーツが鹿屋市だったので鹿屋を身近に感じていたこと、そして鹿屋市の『「ぶっ飛んでる人」待ってます』という地域おこし協力隊の

応募にビビッと感じるものがあつたからです。

鹿屋市は「魚・野菜・肉がとても豊富でおいしい」魅力的な町だと感じています。鹿屋市の人たちは最初、大人しい方が多いのかな、話しかけにくいのかなと思っていましたが、話しかけてみると皆さんとても気さくで、温かく受け入れてくれるので、すごくうれいいます。

私の業務は、多くの皆さんと関わり合いながら鹿屋市の水産業を盛り上げていくことです。また、海を豊かにする活動や海の実環境教育にも取り組みたいですと思っています。協力隊の活動を通じて、鹿屋市の海・水産を中心とした「鹿屋市の魅力」を多くの皆さんに伝えていきたいです。

何事もまだまだ半人前でお世話になることばかりだと思いますが、私にできることはベストを尽くします！よろしくお願いします。

鹿屋市地域おこし協力隊を志望したのは、違う土地で違う職業に就いてみたいという思いがあつたことと化学や生物、地理に興味があり、その知識をフルに活用できる業種として「農業」に関心を持っていた、農業を通して多くの人と関わりたいと思ったからです。

私の業務は鹿屋市の農業発展のサポート。農業機械を操作して作業を行う「農業機械オペレーター」として、集落営農組織の方々と協力しながら農業に取り組みたいと思っています。また、現場での活動を通して地域農業の実態を把握し、3年後の卒業時には持続可能な農業経営の実現に向けた成果を残せるようにしたいです。併せて「担い手の確保」や「地産地消」、「食育」など農業に関することを中心に、現場の方々や市役所の皆さんと協力して進めていきたいです。

私たちが頑張っています

令和6年7月1日着任

有害鳥獣ハンター

ながよし ひろゆき
(左) **永吉 裕之** 隊員 (45 歳)

令和5年9月1日着任

かのやにぎわいクリエイター

しおや ゆうすけ
(右) **塩屋 侑介** 隊員 (27 歳)



農業機械オペレーター

さの りょうと
佐野 稜人 隊員 (26 歳)

新潟県出身。前職は中学校で英語教師として働いていました。趣味は絵を描くことですが、今は「農業」というジャンルにどっぷり浸かっていて、得た知識を実践できることがとっても楽しいです！

夜の街に行くのが好きなので、出会うことがあるかもしれません。その際はぜひ焼酎で乾杯してください！



妻が鹿屋市出身で、結婚前に来る機会がありました。その度に鹿屋市のおいしいご飯やお酒を味わったり、スナックに行ったりしたことで鹿屋への興味の沼にハマっていききました。そんなとき、運良く鹿屋市地域おこし協力隊の募集の記事を見つけ、私の強みのSNSを生かしながら鹿屋市に住めるなら、絶対に面白い出会いがあるはずと思い鹿屋市にきました。

家に焼酎が置いてある、方言がきついというイメージがあります。また、引越して2・3日のうちに車に結構な灰が積もって衝撃を受けました。

私の業務は、鹿屋市のSNSに携わることです。私が素敵だと思つた鹿屋市の魅力を一人でも多くの人に知ってもらい、私と同じように鹿屋に住みたいとか、観光に行つてみたいと思つてもらえるように頑張ります。その他、農業やジビエなどにも任期中に携わってみたいなど思っています。

隊員として、もっと鹿屋市の魅力にどっぷりと浸かっていきたいと思つていますので、まだまだ知らないことばかりですが、お会いした際には色々教えてください。

SNS マーケター

くきやま りゅうたろう
久木山 龍太郎 隊員 (32 歳)

福岡県出身。広告代理店等で営業をする傍ら、副業で企業のSNS運用に携わり独立。趣味は「初めて」を体験することで、大型バイクや筋トレ、船釣りなど数々の趣味にハマってきました。次の趣味が楽しみです。